

31H 今川 華世 32H 澤田 優奈  
35H 摩郷 孝明 36H 三井 鈴加

■課題

里山里海の手入れ不足

■解決策

近代テクノロジーの導入支援により退職後の人を中心に農業に従事する人を増やす

■現状

【里山里海の現状】

・過疎化、高齢化の進行による農林業の不振が原因で、**石川県内の耕地面積の減少**

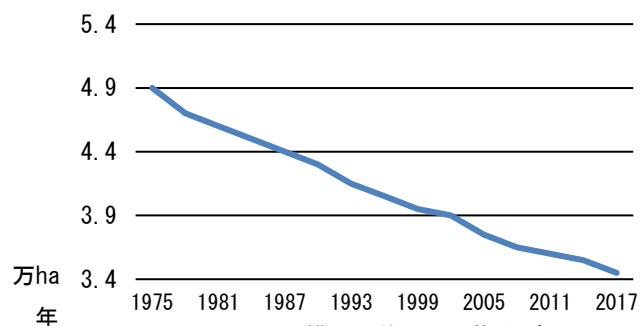


図1 石川県耕地面積(田)推移グラフ

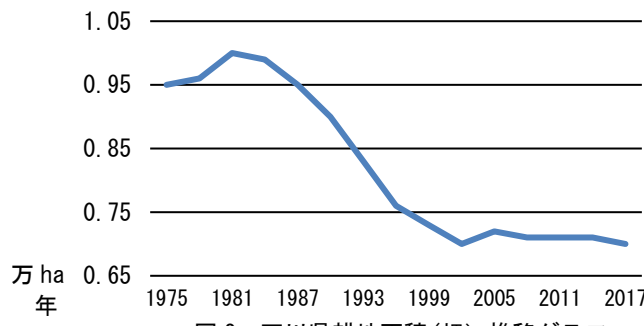


図2 石川県耕地面積(畑)推移グラフ

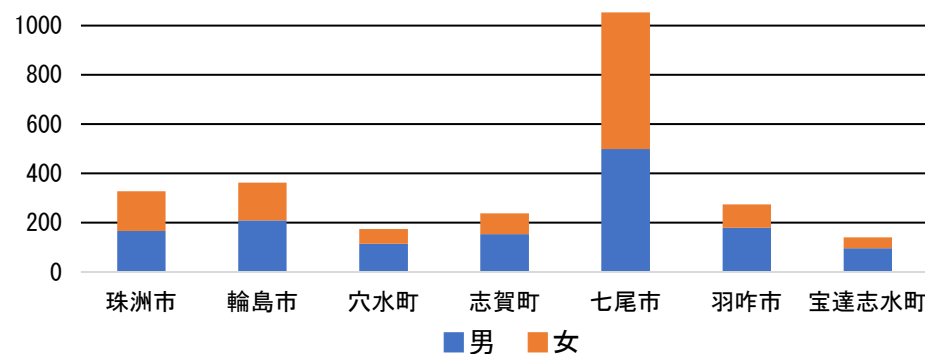


図3 令和2年度 シルバー人材センター男女別会員数

【退職後の人の数と過ごし方】

〈2021年1月1日時点(宝達志水町以北)〉

65~79歳人口 男: 27,798人 女: 27,463人

このうち、シルバー人材センターに所属している人は2500人以上

→まだ働く意欲のある人、お金を稼ぎたいと思っている人が多数いる!

○シルバー人材センターの主な仕事内容  
受託事業、労働者派遣事業、独自事業

○七尾市の例

正月用品(大門松、しめ縄など)の製造、販売

■具体的内容

・既存の近代テクノロジー使用支援を用いて里山を維持してもらう。

【近代テクノロジーの実用例】

〈自動走行トラクター〉



[https://www.yanmar.com/ltc/jp/about/technology/img/6ac86a00bd/img\\_tech\\_robo\\_04.jpg](https://www.yanmar.com/ltc/jp/about/technology/img/6ac86a00bd/img_tech_robo_04.jpg)

〈WATARAS〉



[https://agriculture.kubota.co.jp/product/kanren/wataras/images/menu\\_01.jpg](https://agriculture.kubota.co.jp/product/kanren/wataras/images/menu_01.jpg)

限られた作期の中で大規模化が可能になる

水管理労力を80%削減

【既存の近代テクノロジー使用支援例】

〈みどりの食料システム戦略推進総合対策〉

スマート農業技術等を活用して、スマート農業産地の取組を支援。

ドローンで農薬散布をする様子

→



[http://industlink.jp/userfiles/images/kadokawa/0350aAdobeStock\\_229224729.jpg](http://industlink.jp/userfiles/images/kadokawa/0350aAdobeStock_229224729.jpg)

■効果

- ・農業の取り組みへのハードルが下がり、農業に取り組みやすくなる。
- ・1人当たりの作業可能な面積が拡大し、高齢者でも大規模化が可能になる。
- ・適切なタイミングでの施肥や収穫が可能となり、初心者でも高収量化、高品質化、省力化ができる。

■参考文献

農林水産省 スマート農業の展開について 農林水産省ホームページ 2020-8  
[https://www.maff.go.jp/j/kanbo/smart/pdf/smart\\_agri\\_tenkai.pdf](https://www.maff.go.jp/j/kanbo/smart/pdf/smart_agri_tenkai.pdf) (参照 2022-2-7)  
 農林水産技術会議事務局 令和4年度予算概算要求の概要 農林水産省ホームページ 2021-3-8  
[https://www.affrc.maff.go.jp/docs/yosan/old/attach/pdf/old\\_mokuji-9.pdf](https://www.affrc.maff.go.jp/docs/yosan/old/attach/pdf/old_mokuji-9.pdf) (参照 2022-2-7)  
 合同会社LBB グラフで見る世界の統計 GraphToChart  
<https://graphtochart.com/japan/ishikawa-cultivated-land-area-fields.php> (参照 2022-2-7) 他